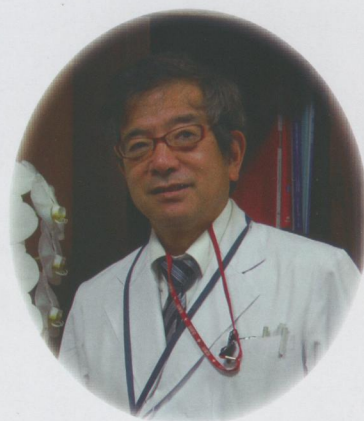


HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌
2012 vol.29

感謝、挨拶、笑顔で患者さまにより一層の安心と満足を



神戸赤十字病院 院長

こざわ しゅういち
小澤 修一

本年4月1日から院長に就任いたしました小澤修一（こざわしゅういち）です。前院長の守殿貞夫先生には引き続きついで顧問としての御指導と火曜日午後の外来診療をお願いしております。

当院は本年8月1日に開院後10年を迎えようとしています。今年は、東日本大震災で亡くなられた方の御霊が震災を忘れるなどと言っているかのように遅い春の訪れでしたが、一気に梅と桜が同時開花し、あつという間に新緑を通り過ぎ梅雨の季節となりました。

守殿貞夫前院長は、理念として、「地域から選ばれる病院、職員が働いてよかった病院」を掲げられました。小川恭一初代院長は、「HAT神戸から世界に発信する病院」を掲げられました。小川先生が未来への展望、守殿先生が地に足つけた日常と孟子の言う天の時、地の利、を強調されましたので、私はあらためて人の和を強調したいと思います。

当院の理念は患者さまの声に耳を傾け、患者さまを中心とした、安心と満足が得られる医療の提供です。また転院されたり、退院後に、元の診療所で診ていただくことになっても、患者さまが少しの不安も抱かないように地域医療機関と強い連携（絆）を保ちます。

また救急医療、災害救護活動、国際救護活動も赤十字病院の重要な使命であり、昨年の東日本大震災時には、3月11日の震災直後より4月10日まで救護班を岩手県釜石地区に派遣し、4月11日から5月18日まで岩手県立山田高校で救護活動を行いました。そ

の後も宮城県石巻赤十字病院の支援を行いました。

当院と兵庫県災害医療センターは同じ敷地内で、当院が2次救急（軽症、中等症）、センターが高度救命救急センターとして3次救急（重症）と連携し、日夜地域並びに県全体の救急医療の確保とさらなる向上に努めています。

センターも昨年の東日本大震災時には、発災直後よりDMAT（災害派遣医療チーム）を自衛隊機で花巻空港に派遣し、中山副センター長が参集した74DMATの統括DMATとして136名の重症傷病者を広域搬送する指揮をとりました。センター内の広域災害救急医療情報指令センターでは様々な後方支援を行いました。

神戸赤十字病院と兵庫県災害医療センターはどちらも兵庫県の基幹災害医療センターで、中山副センター長が兵庫県災害医療センター長になり、センター長であった私が神戸赤十字病院院長になったことにより、災害時はもちろん平時においてもより一層連携し、きずなを深め、一体的な運用を行うことにより、患者さまに安心と満足が得られる医療を提供できると考えています。

東日本大震災は、私たちに多くのことを学ばせてくれました。絆という最も強い人の和と、それを支える心づかいと思ひやりです。また心は見えないが心づかいは見える、思ひは見えないが思ひやりはみえる、と心を形にする第一歩を教えてくださいました。

当院では、春の選抜高校野球の石巻工業高校阿部 翔人キャプテンの感動、勇気、笑顔の宣誓に習い、職員一同、感謝、挨拶、笑顔を実行すべく皆様のご来院をお待ちしています。



『患者さん中心の“三位一体”の 「チーム医療」に努めます』

放射線技師長 古東 正宜

放射線科部

放射線科部は、単純X線撮影・造影検査・CT・MRIなどの画像を提供する画像診断部門と放射性同位元素を使う核医学検査部門および放射線治療部門の3部門に大きく分かれます。

●画像診断部門は、皆さんが先ず放射線と聞き思い浮かべる胸のレントゲン撮影があります。骨X線写真では、骨折や脱臼、関節炎や骨腫瘍などの骨の病気が診断されます。また、マンモ撮影は1mm以下の「しこり」として触れないような非常に小さな乳がんが診断されるようになり早期の乳がん検診として盛んに行われています。

☆造影検査には、X線TV装置でのX線透視を使用し行う、消化管の造影検査などがあります。また、特殊な造影検査としては、カテーテルを血管内に挿入し造影する血管造影があります。血管の病気に対する治療としては、狭くなった心臓の血管を広げたり、脳動脈瘤が破れないように処置したり、腫瘍血管に薬を注入するIVR（経カテーテル治療）が盛んに行われています。外科的な手術と同等な成績が得られています。

☆CT検査は、コンピュータを利用し全身の輪切りが得られる検査です。救急検査に有用で各部位の早期診断には欠かせません。検査時間が早く数十秒で検査が行えます。

☆MRI検査は、非常に強い磁石と電波を利用して人体の様々な断面を撮像する検査です。各部位の診断が可能で脳梗塞の早期診断が可能です。脳ドックも行われています。

●骨塩定量検査…この検査は、骨塩量を得ることができ骨粗鬆症の診断が可能です。

し、脳血流および心筋血流の異常部位を診断します。また骨シンチグラフィでは骨転移を診断し、腫瘍シンチグラフィでは全身の炎症を診断します。

●放射線治療部門では、高エネルギーの放射線を有効に使い腫瘍に対し「切らずに治す」放射線治療を行っています。治療計画はCT装置を利用しているためにも正確です。

放射線科部内にはRIS (Radiology Information System) と呼ばれるネットワークが設置されており、病院情報システムと連携しています。患者さまの基本情報の取得や検査依頼の予約の受付、会計などが迅速に行えます。また撮影された画像は、データベース化され、各診療科の端末で読影レポートと共に簡単に取り出すことができ、モニターでの画像診断を行っています。

放射線科部内で行われている検査・診断・治療は、放射線科医師のみではなく、消化器内科・整形外科・循環器内科・脳神経外科・泌尿器科などの専門の医師が携わり、看護師・診療放射線技師を含めた三位一体の「チーム医療」を実践しています。

＜認定資格者一覧＞

第1種放射線取扱主任者	4名
マンモグラフィ撮影専門技師	2名
救急撮影認定技師	3名
血管撮影・IVR専門技師	2名
核医学専門技師	2名
肺がんCT検診認定技師	1名
MRI認定技師4級	1名
CT認定技師3級	1名
医用画像情報管理士	2名
医療情報技師	2名
放射線管理士	1名



『マイコプラズマ肺炎について』

薬剤部

鈴木 早苗

毎年冬になるとインフルエンザが話題になりますが、昨年末よりマイコプラズマ肺炎という病気を耳にされた方も多いのではないのでしょうか？

今年は、5月のゴールデンウィーク終了後に再び増加傾向となり、このまま増加傾向が続けば、昨年と同様かそれ以上の流行となる可能性があります。国立感染症研究所は注意を呼び掛けています。

マイコプラズマ肺炎は、発熱・咳・倦怠感・頭痛などを主な症状とする感染症です。2〜3週間の潜伏期間の後、発熱に続いて咳が出現し、熱が下がった後も頑固な咳が3〜4週間続く場合があります。原因となるのは、マイコプラズマ・ニューモニエと呼ばれる微生物です。マイコプラズマ肺炎に罹った人の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれ、人から人へ感染します。

日本では幼児期、学童期、青年期の感染が多いことがわかっており、保育所、学校、家庭内や職場内など比較的閉鎖的な環境での流行がよくみられます。予防接種はありませんので、咳エチケットと手洗いによる感染予防が大切です。一度罹ると一生免疫力がつくわけではなく、何度も感染することがありますので、罹った人も注意しましょう。

治療には抗菌薬と解熱鎮痛薬や咳止めなどが使われます。ペニシリン系やセフェム系などの抗菌薬は効果がなく、マクロライド系、テトラサイクリン系、キノロン系の抗菌薬が効きます。薬の効きにくい菌（耐性菌）の増加が報告されていますが、ほとんどの場合、外来の通院治療で治ります。医師の指示に従い、正しい服薬と安静に努めましょう。

小さなお子さんの場合、ジュースやアイスクリームに薬を混ぜると飲みやすくなりますが、薬によっては吸収が悪くなったり、逆に苦くなったりすることもありますので、薬剤師にご相談ください。



栄養課だより

26



金曜日のお昼過ぎ、突然にABC朝日放送から取材の依頼電話がありました。月〜金の16時50分〜18時54分に放送されている番組「キャスト」。

「アレ・キニナル」のコーナーで今回のテーマ「病院食」が「気になる」で番組取材をさせて欲しいとのことでした。

月曜日に取材、木曜日放送予定と急な要請にもかかわらずスタッフ皆の協力で、①昼食の食事風景、②パン・ケーキの製造工程、焼き上がり、③福井栄養課長と川口調理係長のインタビューと取材をされ、最後にキャスターと記念撮影をさせていただきました。

キャスターの塚本まりえさん、ディレクター、カメラマン、音声さんと4人のスタッフが予定通り12時到着されました。

当日の昼食献立は、①米飯、②牛しゃぶおろしポン酢、③ひじき煮、④清汁、⑤含め煮、⑥手製コーヒゼリー。普段、患者さまに提供している食事ですが、「美味しい」、「病院ではないみたい!」とお褒めの言葉を頂きました。

(エネルギー736kcal、タンパク質25.4g、脂質15.6g、塩分3.8g/1日2000kcal食)



取材を受ける川口調理係長



塚本まりえキャスター

また、「焼きたてパンを食べたい」とのご要望に答え、生放送時間に川口係長が焼きたてを持参し、出演者の方が番組内に召し上がられました。

今回10分の番組コーナーで、神戸赤十字病院のほか、国立循環器研究センター、江川産婦人科が紹介されました。

これからも、美味しく身体に優しい病院食を目指します。

(平成23年11月17日に放送)

基本方針

1. 患者さまの人権と意思を尊重し、根拠に基づいた、安心と満足が得られる医療を提供します。
2. 地域医療機関と連携して、地域全体で一貫した医療を提供します。
3. 救急医療、災害救護・国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽し明るく活力ある職場づくりに努めます。

神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見直しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治療方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
5. 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
6. 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
7. 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、それを受けるかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
8. 診療の過程で得られた個人情報秘の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

神戸赤十字病院
予約センター
救急外来

TEL:231-6006
TEL:241-9273(平日8:30~17:00)
TEL:241-9295

外来診療担当医表

	科目		月	火	水	木	金
診療受付1	整形外科 リハビリ テーション科	午前	伊藤康夫	長谷川康裕	伊藤康夫	長谷川康裕	中後貴江
			戸田一潔	越宗幸一郎	中後貴江	戸田一潔	越宗幸一郎
			森田卓也	魚谷弘二	水野正一郎	大橋秀基	魚谷弘二
			/	水野正一郎	森田卓也	/	/
	脳神経外科	午前	山下晴央	/	原 淑恵	山下晴央	井上悟志(第1・3週) 山本浩隆(第2・4・5週)
		午後	/	/	/	/	田中宏知
	心臓血管外科	午前	築部卓郎(初診予約)	築部卓郎	担当医(初診予約)	松川 律	原口知則
	呼吸器外科	午前	阪本俊彦	/	阪本俊彦	/	阪本俊彦
			湯木 毅	/	湯木 毅	/	湯木 毅
	外 科	午前	石堂展宏	門脇嘉彦	石堂展宏	岡本貴大	門脇嘉彦
			岡本貴大	田村竜二	湯浅壮司	湯浅壮司	田村竜二
診療受付2	麻酔科(ペイン)	午前	/	石津友子(ペイン)	/	石津友子(ペイン)	/
	内科(総合)	午前	杉本啓介	川島邦博	並木雅行	梶本和宏	藤井正俊
			國定浩一	横山祐二	川島邦博	森本太郎	川島邦博
	内科	午前	伊賀真紀子	上田 裕介	國定浩一	/	上田 裕介
			藤井正俊	白坂大輔	藤井正俊	白坂大輔	平山貴視
	消化器内科	午前	迫 智也	長野秀信	黒田浩平	平山貴視	黒田浩平
			/	東内雄亮	/	大塚崇史	生方綾史
	呼吸器内科	午前	梶本和宏	杉本啓介	藤井昌学	杉本啓介	梶本和宏
			/	/	/	藤井昌学	/
	麻酔科	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
診療受付3	循環器内科	午前	土井智文	土井智文	五十嵐宣明	並木雅行	村田武臣
			/	岡田武哲	田原奈津子	ペースメーカー外来(第4週)	今田宙志
	神経内科	午前	上田直子	/	内藤 絢	山本真士	/
			村上典子	黒田 綾	村上典子	黒田 綾	村上典子
	心療内科	午後	/	村上典子(初診予約)	/	村上典子(初診予約)	/
			/	/	/	/	/
	放射線受付7	午前	杉本幸司	木下めぐ美	森 岳樹	原田文(治療再診)	大森美佳
			/	/	/	原田文(治療初診)	奥野芳茂(治療初診・再診)
	放射線科	午後	/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
診療受付4	小児科	午前	住永 亮	下竹敦哉	担当医	下竹敦哉	住永 亮
			下竹敦哉	住永 亮	担当医	住永 亮	下竹敦哉
			住永 亮(アレルギー)	予防接種・乳児健診	/	下竹(発達行動外来)	住永(内分泌・アレルギー)
			/	/	/	/	坂田順子(小児神経) 第1・3週
	眼 科	午前	宮崎茂雄	宮崎茂雄	宮崎茂雄	宮崎茂雄	宮崎茂雄
			東 多永子	/	/	/	/
	形成外科	午前	/	田原真也	佐藤 誠	/	田原 真也
			鷲尾 健	/	/	福永 淳	/
	皮膚科	午前	野瀬隆一郎	松井 隆	/	野瀬隆一郎	松井 隆
			/	守殿貞夫(予約制)	/	/	/
診療受付5	泌尿器科	午後	松井 隆	/	/	/	/
			山本一宏	貴名麻紀	山本一宏	/	貴名麻紀
	耳鼻科	午前	貴名麻紀(特殊診)	山本一宏(特殊診)	貴名麻紀(特殊診)	/	山本一宏(特殊診)
			佐藤朝臣	山中良彦	楊 培世	山中良彦	佐藤朝臣
	婦人科	午前	/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
	緩和ケア外来	午後	松井 隆	/	/	/	/
			山本一宏	貴名麻紀	山本一宏	/	貴名麻紀
	形成外科	午前	/	田原真也	佐藤 誠	/	田原 真也
			鷲尾 健	/	/	福永 淳	/

診療受付時間(予約制) 午前9:00~午前11:30 午後1:00~午後3:00

(平成24年6月1日現在)

※ 急患はこの限りではありません。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
神戸赤十字病院

神戸赤十字病院広報誌 HAT CROSS 2012 Vol.29

発行日 2012年6月

発行者 神戸赤十字病院 広報委員会

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番1号

TEL(078)231-6006(代) FAX(078)241-7053

ホームページ <http://www.kobe.jrc.or.jp/>